



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1979, 41

ISSUE DATE:

1979-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/135125>

RIGHT:

著文學評論

第 XLI 集

恣意の空間と摂理の空間（その二）

——『序曲』（第一巻）の鳥の巢^と掠りの少年・覚え書き（←）——

.....松下千吉

エマソンの『英国人の特性』

——愛国者エマソンの一面——小 畠 啓 邦

戯れの言葉

——メルヴィルの「独身男達の天国と
乙女達の地獄」について——中 村 紘 一

T・S・エリオットとアーヴィング・バビット角 倉 康 夫

ジェフリー・オヴ・マンマス『メルリーヌス伝』（訳）(1)六 反 田 収

フェノロサの「文学真説」

——ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵

遺稿（Ⅱ）——村 形 明 子

京都大学教養部英語教室

目次

恣意の空間と摂理の空間（その二）

——『序曲』（第一巻）の鳥の巢掠りの少年・覚え書き（一）——……………松下千吉……………（一）

エマソンの『英国人の特性』

——愛国者エマソンの一面——……………小島啓邦……………（二四）

戯れの言葉

——メルヴィルの「独身男達の天国と乙女達の地獄」について——……………中村紘一……………（五四）

T・S・エリオットとアーヴィング・バビット……………角倉康夫……………（七一）

☆

☆

☆

ジェフリー・オヴ・マンマス『メルリーヌス伝』（訳）（1）……………六反田収……………（1）

フェノロサの「文学真説」

——ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵遺稿（Ⅱ）——……………村形明子……………（66）

編集後記

☆『英文学評論』第四十一集をおとどける。難産を思わせた
が、ともかく寄稿全篇を収載できたことをうれしく思う。出版に
いたるまでの諸方の理解と尽力に心から感謝いたしたい。

☆今年度かぎりで角倉康夫教授は定年退官される。先生の情熱
的な教場での指導ぶりは教え子のひとしく感銘するところであっ
た。当号に稿をお寄せいただいたことにお礼申し上げるとともに、
一層のご活躍をお祈りしたい。

☆教養部の改革問題はいよいよ風雲急を告げるの感がある。こ
こにいたってはわれわれも新たな決意と覚悟を必要としよう。

☆一年間文部省在外研究員として留学中であつた長谷川年光氏
もこの三月に帰国され、久し振りに英語教室のスタッフは全員揃
った。

(編集委員)

英文学評論 第四十一集

非売品

昭和五十四年 三月二十五日 印刷
昭和五十四年 三月三十日 発行

編集者

京都大学教養部英語教室

代表者 青木啓治

印刷所

中村印刷株式会社

京都市下京区七条御所ノ内中町

発行所

京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XLI March 1979

CONTENTS

Space of Will and Space of Providence (II)

—Notes on the Bird's-Nesting Boy

in *The Prelude* (Bk. I) (1)—*Senkichi Matsushita*

Emerson's *English Traits* and his Patriotic Aspect.....*Hirokuni Kobatake*

A Play on Words

—Melville's "The Paradise of Bachelors

and the Tartarus of Maids"—*Kôichi Nakamura*

T. S. Eliot and Irving Babbitt.....*Yasuo Kadokura*

Geoffrey of Monmouth: *Vita Merlini* (Translation) (1).....*Osamu Rokutanda*

"Preliminary Lectures on the Theory of Literature":

The Ernest F. Fenollosa Manuscripts, Houghton

Library, Harvard University (II)*Akiko Murakata*

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY